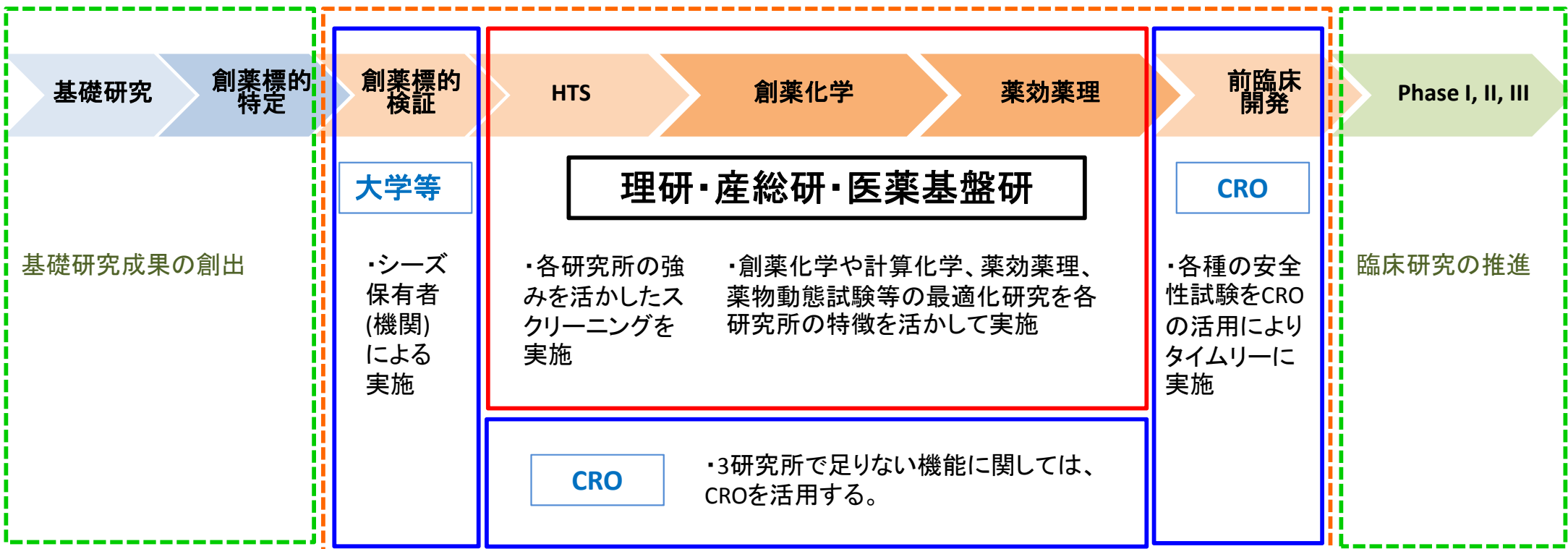


## 創薬支援ネットワークにおける段階毎の支援実施機関及び費用の流れ



創薬支援ネットワークによる支援範囲

- : 各独法の運営費交付金で実施
- : 創薬支援戦略室からの委託費により実施

※ CRO: Contract Research Organization 受託研究機関

# 1. オールジャパンでの医薬品創出

新独法対象経費  
平成27年度概算要求額 245億円

インハウス研究機関経費  
平成27年度概算要求額 52億円

創薬支援ネットワークの構築により、大学や産業界と連携しながら、新薬創出に向けた研究開発を支援するとともに、創薬支援のための基盤強化を図る。また、創薬ターゲットの同定に係る研究、創薬の基盤となる技術開発、医療技術の実用化に係る研究を推進し、革新的医薬品及び希少疾患治療薬等の開発を支援する。

フェーズ

基礎研究

応用研究

非臨床

臨床研究・治験

実用化

創薬・基盤技術開発

その他

支援基盤

※インハウス予算は推計値 ■:文科省、■:厚労省、■:経産省

● 革新的先端研究開発支援事業 平成27年度概算要求額: 7.6億円

基礎研究段階で成果が出つつある優れたアカデミア発シーズからの革新的医薬品創出に向けた取組を支援

平成27年度概算要求額: 20.0億円

● 革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発

次世代バイオ医薬品創出基盤技術開発の実施、企業等への移転

平成27年度概算要求額: 52.7億円

● 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発

高品質バイオ医薬品製造、高効率医薬品シーズ探索、低侵襲サンプリング診断

● 先端的基盤開発研究(創薬基盤推進研究事業)

● 臨床応用基盤研究(医療技術実用化総合研究事業(臨床研究・治験推進研究))

臨床研究・治験の推進及びコンパニオン診断薬、ドラッグリポジショニング等の創薬の基盤研究の推進

平成27年度概算要求額: 72.8億円

● 審査の迅速化、質の向上と安全対策の強化

最先端技術を用いた革新的医薬品について、その適切な評価方法を開発し、実用化への道筋を明確化すること等に資する研究を推進

平成27年度概算要求額: 18.5億円

● 創薬支援ネットワーク: 創薬支援ネットワーク協議会による強固な連携・協力体制を形成し、大学等の基礎的研究成果を革新的医薬品として実用化に導くため、新薬創出に向けた研究開発を支援

● 創薬支援推進事業(仮称) 創薬支援上の課題を解決し、創薬支援ネットワークによる支援機能を強化

平成27年度概算要求額: 34.8億円

【理化学研究所】

インハウス研究機関経費  
平成27年度概算要求額: 18.8億円

連携協力

【医薬基盤研究所】

インハウス研究機関経費  
平成27年度概算要求額: 12.4億円

連携協力

【産業技術総合研究所】

インハウス研究機関経費  
平成27年度概算要求額: 21.0億円

連携協力

民間研究機関等の創薬連携研究機関

企業/ベンチャー等による開発の推進

● 創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業【創薬連携研究機関】

創薬等の研究に資する高度な技術や施設等を共用する創薬・医療技術支援基盤を構築  
大学・研究機関等による創薬等の研究を支援

平成27年度概算要求額: 38.9億円

(独)医薬品医療機器総合機構(PMDA)による支援

実用化(市販・医療現場への普及等)

## 【2015年度までの達成目標】

○相談・シーズ評価 400件  
○有望シーズへの創薬支援 40件  
○企業への導出(ライセンスアウト) 1件

## 【2020年頃までの達成目標】

○相談・シーズ評価 1500件  
○有望シーズへの創薬支援 200件  
○企業への導出(ライセンスアウト) 5件

○創薬ターゲットの同定 10個

# 平成27年度 概算要求のポイント

- ① 画期的なシーズの創出・育成に向けた研究開発を推進する。
- ② 創薬支援ネットワークによる支援機能を強化し、アカデミアの基礎研究成果を実用化に結び付ける。
- ③ 研究機関と民間企業との間の透明性を確保しつつ、医薬品の開発・評価等に係る画期的手法の創出に官民共同で取り組む。

①画期的なシーズの創出・育成に向けた研究開発を推進するとともに、有望な成果についての研究を加速・深化  
【文】革新的先端研究開発支援事業

創薬支援ネットワーク  
【理化学研究所、医薬基盤研究所、産業技術総合研究所】

医薬品の探索、最適化

②創薬支援上の課題を解決し、創薬支援ネットワークによる支援機能を強化  
【厚】創薬支援推進事業（仮称）

・臨床研究・治験の推進

【厚】臨床応用基盤研究  
（医療技術実用化総合研究事業  
（臨床研究・治験推進研究））

大学発等のシーズ

連携  
協力

民間研究機関等の創薬連携研究機関

創薬・医療技術支援基盤を構築し大学・研究機関等による創薬等の研究を支援  
【文】創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業（創薬連携研究機関）

企業/ベンチャー等  
による開発の推進

## 創薬基盤技術開発等

次世代バイオ医薬品創出基盤技術開発の実施、企業等への移転

【文】革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発（拡充）

高品質バイオ医薬品製造、高効率医薬品シーズ探索、低侵襲サンプリング診断

【経】次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発

## ③官民共同による創薬課題の克服

医薬品開発促進プログラム、レギュラトリーサイエンスの推進（品質リスク評価・品質管理、バイオマーカーの開発）

バイオ医薬品の創出に係る人材育成、基盤・環境整備

【厚】先端的基盤開発研究（創薬基盤推進研究事業）、【厚】審査の迅速化、質の向上と安全対策の強化

# 平成27年度予算概算要求のうち 創薬支援ネットワーク関連予算の姿<sup>※1</sup>

(単位：億円)

| 区 分                      | 27年度<br>要求・要望額 |                  | 【参考】<br>26年度<br>当初予算額 |
|--------------------------|----------------|------------------|-----------------------|
|                          | 要求額            | 要望額              |                       |
| 新独法対象経費                  |                |                  |                       |
| 創薬支援推進事業（仮称）             | 35             | 34 <sup>※2</sup> | 1                     |
| インハウス研究機関経費              |                |                  |                       |
| （独）理化学研究所                | 19             | 16               | 3                     |
| （独）医薬基盤研究所 <sup>※3</sup> | 12             | 5                | 7 <sup>※2</sup>       |
| （独）産業技術総合研究所             | 21             | 21               | 0                     |
| 総計                       | 87             | 76               | 11                    |
|                          |                |                  | 55                    |

- ※1 創薬支援ネットワーク以外の創薬関連経費を一部含む  
 ※2 うち、創薬支援戦略室関連経費（8億円）は、27年度は創薬支援推進事業（仮称）等に移行  
 ※3 医薬基盤研究所は、27年度から、医薬基盤・健康・栄養研究所に名称変更される予定